

開星中学校・高等学校

公開教育研究会のご案内

テーマ：対話を生む授業づくり ～多面的な思考と安心安全な場づくり～



開催日時：2017年10月26日(木) 9：20～15：20

記念講演 益川弘如先生（聖心女子大学文学部教育学科教授）

演題「主体的・対話的で深い学びを育む授業と評価～学習科学の知見から～」

会場：開星中学校・高等学校

主催：開星中学校・高等学校

後援：島根県、島根県教育委員会、島根大学、島根県立大学

ご 挨拶

盛夏の候 皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より本校の教育活動にご理解とご協力を賜り厚くお礼申しあげます。

さて、本校は今年度「対話を生む授業づくり～多面的な思考と安心安全な場づくり～」という研究テーマを設定し、生徒の主体的な学びを促す授業開発を目指しているところがございます。その取組みを公開し更なる研鑽を積むために「開星中学校・高等学校公開教育研究会」を開催いたします。

つきましては、ご多用中のこととは存じますが、多数の先生方にご参会いただきま
すようご案内申し上げます。

開星中学校・高等学校

校長 大多和 聡宏

平成 29 年度研究テーマ

「対話を生む授業づくり ～多面的な思考と安心安全な場づくり～」

日 程 10月26日（木）

8：30～9：20	受付	
9：20～10：10	研究授業①	授業 A 科学探究 「ブラック・ボックスⅡ」 授業 B コミュニケーション・メソッド 「What did you do?」 授業 C 芸術 「和太鼓におけるダイナミズムの探究」
10：25～11：15	研究授業②	授業 D 総合探究 「命について考える～理科と社会の融合～」 授業 E 数学 「図形」 授業 F 保健体育 「図書館を活用した保健の授業」
11：30～12：50	研究協議	第1会場 授業 A 科学探究・授業 D 総合探究 第2会場 授業 B コミュニケーション・メソッド 第3会場 授業 E 数学 第4会場 授業 C 芸術・授業 F 保健体育
12：50～13：50	昼食休憩	
13：50～15：20	記念講演	益川弘如先生（聖心女子大学文学部教育学科教授） 「主体的・対話的で深い学びを育む授業と評価 ～学習科学の知見から～」

授業の内容

研究授業① 9：20～10：10

授業 A 【科学探究】 「ブラック・ボックスⅡ」

授業者：三島邦彦 田中薫 学年：高1

昨年度実施した授業「ブラック・ボックス」の改良版です。昨年度は授業の導入部で“地下から出てきた謎の箱”という設定をしたためそちらに引きずられてしまい、ブラック・ボックスの検証＝科学的な手続きという点まで深めることができませんでした。今年度はその点で無駄な部分をそぎ落とし、より科学的な部分を際立たせる授業展開を実施したいと考えています。

授業 B 【コミュニケーション・メソッド】 「What did you do?」

授業者：長野亜矢子 渡辺雅之 Judy Obrien 学年：高1

ある日、殺人事件が起きた（と仮定する）。犯人は誰だ！？生徒が探偵となって犯人を探すロールプレイング『アリバイゲーム』を通して、過去のことを説明する英語表現を習得することと、英語で互いに質問し答えるというコミュニケーション能力の向上が、この授業の目標です。外国人教師が All English で行う、生徒主体のアクティブな授業です。

授業 C 【芸術】 「和太鼓におけるダイナミズムの探究」

授業者：山下美帆 学年：中3

校内音楽祭を1週間後に控えた中3の授業です。音楽の要素のうち「強弱」を追求することにより、音楽の聴こえ方や伝えたいことも変化するかどうかに着目します。和太鼓のフォームも取り上げ、分析します。

「クラスでどのような表現を目指していくか」を検討し、中学生生活最後の音楽祭での演奏をどのようなものにしたいかについてクラス全員で考えていきます。

研究授業② 10：25～11：15

授業 D 【総合探究】 「命について考える～理科と社会の融合～」

授業者：松浦亮 飯塚勇二 学年：高3

「いのちについて考える」というテーマで4カ月かけて授業を実施しています。このテーマのもと、情報カードの整理の仕方、レポートの書き方など、「探究」の手順を改めて学び、生徒1人ひとりが「深い学び」に向かうことを目指しています。

今回の研究授業では、前半部分の生命倫理に関する調べ学習や事例学習のグループワークを公開予定です。

授業 E 【数学】 「図形」

授業者：山下真史 学年：中2

与えられた図形から特徴を発見し、数学的に証明していく授業です。グループで考え、その内容を共有することを目指します。

授業 F 【保健体育】 「図書館を活用した保健の授業」

授業者：多田省吾 学年：高1

健康的な生活をおくるために何が必要なのかを、資料から情報をとり、探っていく授業です。図書館司書教諭の協力のもと、情報カードを用いて資料から情報を集めます。図書館を活用した授業です。

記念講演

演題 「主体的・対話的で深い学びを育む授業と評価
～学習科学の知見から～」

講師 益川弘如先生
(聖心女子大学文学部教育学科教授)



広島県生まれ。中京大学大学院情報科学研究科博士課程満退、博士（認知科学）。中京大学情報科学部認知科学科助手、静岡大学大学院教育学研究科准教授を経て現職。専門は学習科学、認知科学、教育工学。これからの時代に必要となる資質・能力を授業中の学習活動を通して育成するために、主体的・対話的で深い学びを実現する授業、生徒同士で ICT を活用する授業、そして、一人ひとりなりの学びの変容を促す評価方法の開発といったデザイン研究を「建設的相互作用」といった人の学習原理に基づいて実践的に取り組んでいる。

主な著書に『教育工学選書Ⅱ 学びのデザイン：学習科学』（2016 ミネルヴァ書房・共編著）、「知識構成型ジグソー法」『アクティブラーニングの技法・授業デザイン』（2016 東進堂）、『21世紀型スキルー学びと評価の新たなかたち』（2014 北大路書房、共著・編訳）、「インターネットを活用した協調学習の未来に向けて」『児童心理学の進歩』53（2014 金子書房、共著）など。

お申込み方法

次の①、②のいずれかの方法でお申し込み下さい。

①添付の参加申込書に必要事項をご記入いただき FAX かメールにて送信していただく。

②本校ホームページの申し込みフォームに記入していただく。

送信先 FAX 番号 0852-21-9118

送付先メールアドレス katsube@kaisei.matsue.shimane.jp

ホームページ <http://www.kaisei.matsue.shimane.jp/>

お申込み締切り 10月20日（金）



開星は文部科学省より
スーパーサイエンスハ
イスクール (SSH) に
指定されています。
(平成25年度から5年間)

本校へのアクセス

JR 松江駅より徒歩20分

山陰道松江中央ランプより車5分

〈住所〉

〒690-0017

松江市西津田 9-11-1

(TEL 0852-21-4915)

